

news

Kurume University Medical Center
久留米大学医療センター

2009.12
No.013



平成21年11月18日 防災訓練風景

私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

1. 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
2. 充分な説明と同意のもとに、最新で安全な医療を行います。
3. 地域に開かれた病院として、健康と福祉の向上に努めます。
4. 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

〈久留米大学医療センターホームページ〉

<http://iryo.kurume-u.ac.jp/>

Contents

- 第1回 病診連携紹介（ツジ胃腸内科医院）
- 新型インフルエンザについて
- 診療科紹介（精神科）
- 絵画の寄贈について
- なぜなに嚥下☆Q & A（第9回）

第1回 病診連携紹介（ツジ胃腸内科医院）

医療法人八十八会 ツジ胃腸内科医院

○所在地 久留米市国分町神楽田1163番地1

TEL 0942-21-1582 FAX 0942-21-7272

URL: <http://www.tsuji-i.com/>

○診療時間 月～金 8:00～19:00

(但し、第4木曜日は職員研修のため13:00まで)

土曜日 8:00～17:00

日曜日 9:00～12:00



みなさん、こんにちは！

ツジ胃腸内科医院の院長 辻 吉保です。

今回、栄えある久留米大学医療センターの広報誌の連携医の紹介ページを、小生が担当する事になり、大変恐縮しております。ここで、簡単に自己紹介をさせて頂きます。

平成18年8月から、父である理事長 辻 吉彦より継承し、平成20年11月に現在地に移転しました。

当院は、昭和48年に六ツ門町で開業した父が戦時中疎開していた縁で昭和59年に国分町に移転してまいりました。

法人名は久留米の米からの八十八とお思いの方もいらっしゃいますが、四国八十八か所にあやかりまして、親戚の八十八（やそはち）さんという末広がりなお名前から頂きました。

久留米大学医療センターとのご縁は古く、祖父である薬剤師、故・辻 進が旧陸軍病院で働いておりましたのがご縁の初まりで、幼い父も一緒に疎開してきたと聞いております。

小生も平成13年に当時の古賀義則院長の御指導の下、循環器内科と脳卒中内科で研修をさせて頂きました。実家が近いのですが、当時病院では研修医は1人であったため、ほとんど毎日泊まり込みで御指導頂きました。入浴以外に家に帰った記憶がなく、空き部屋を利用しておりましたので、大学に帰る際に個室料金を請求された笑い話を今でも思い出します。当時の経験が血肉となり、現在の診療に役立っております。

診療科目は一般内科、胃腸内科、消化器内科、呼吸器内科、内視鏡内科、放射線診断科で、胃腸透視・胃大腸の内視鏡検査・小腸カプセル内視鏡・超音波検査・全身CT・レントゲン・マンモグラフィ検査など、一般外来診療と在宅訪問診療、入院（一般・療養型）診療、各種健康診断を行っております。父の開業当時より、平日仕事で忙しい方のために土曜、日曜日の診療をしております。

色々な疾患の患者さんが来院されますが、医療の機能細分化もあり、患者さん自身が何科に受診したらよいか分からぬといいう方も多いので、適切にアドバイスし、小生で対応できない場合は医療センターにお願いして、専門的な検査や治療を行って頂いております。また、最近は病状が悪く、緊急で検査や手術を必要とする患者さんが多くなってきた印象です。

夜間や休日となると、当院で病状が安定するよう診断・治療を行いますが、緊急で処置が必要な患者さんをいつも電話一本で快く対応頂くなど、医療センターの先生方、スタッフの方々には大変お世話になっており、本当に感謝しております。診療に際して、とても安心感があります。

当院は移転前より、介護老人保健施設明星苑コスモス、認知症対応型共同生活介護グループホームこすもす、グループホームこすもすⅡなど介護の後方支援が整っているため、医療センターからの転院相談を受けさせて頂いております。移転後はケアハウスコスモス21を合棟し、さらに充実した療養環境と診療体制を構築すべく、努力しております。

医療・介護を取り巻く環境はさらに厳しさを増しておりますが、患者さまが安心して外来・入院診療が受けられるよう、地域の基幹病院である医療センターとともに、その機能を補完できるよう、街の診療所として、近隣の開業医の先生とも連携して地域の医療・介護・福祉の三本柱を堅持していくように努力して参ります。

今後も、医療センターには全科でお世話になると思いますが、封筒の名前をご覧になつたらニッコリ笑って診療にあたって頂けるように、頑張っていきたいと思います。
末永くよろしくお願ひいたします。

新型インフルエンザについて

感染防止委員会 松岡 昌信

新型インフルエンザについては日々テレビなどで報道されておりますので皆様もご存知のことと思います。今回は特に家庭でできる事を中心に新型インフルエンザについてお話ししたいと思います。



まず症状についてのおさらいです。インフルエンザの症状はいわゆる風邪症状でお熱がでて体がだるくなり(倦怠感)、鼻水、鼻づまり、のどいた、くしゃみ、節々の痛みなどでこれは新型インフルエンザも同じです。病気自体も通常は1週間程度で良くなっています。治療、予防策なども季節性のインフルエンザと変わりません。

違いは新型のインフルエンザは一般的には人が免疫を獲得していないことから、とても多くの人が病気にかかってしまうということです。ですから確率は低いのですが重症化する方も増えてしまうということになります。

これからますます患者様の数は増えていく事が予想されます。インフルエンザがすぐなくなることはありませんので**大切な事は落ち着いて対応していくこと、今できる事をやっていくこと**だと思います。ご家庭で実践していただきたいポイントを以下にまとめます。参考にされて下さい。

◎「うつさない」 ◎「うつらない」

- インフルエンザの患者(あるいはかかったと思う方)はできる限り外出をひかえる。
- 咳がある方は**咳エチケット**をまもる。
- 学級閉鎖、休講になったら、塾や遊びいでないようにする。
- インフルエンザのお薬が出された場合、良くなっても最後まで飲みきる
- 手洗いは丁寧にしっかり行いましょう。
- 咳をしている人との接触はできるだけ控えるようにしましょう。
- 十分な安静、とくに睡眠は大切です。

◎「緊急対応が必要な状況」

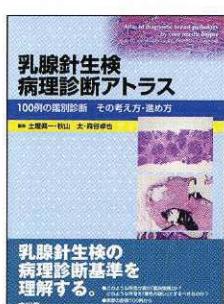
- ★息が苦しそう ★顔色が悪い ★水分摂取が十分にできない ★息が苦しそう
- ★繰り返す嘔吐があるとき ★意思疎通が上手くできない ★一旦よくなった後で再度悪化した場合



ちょっと大丈夫？
と思ったら
早めの受診を！



刊行案内

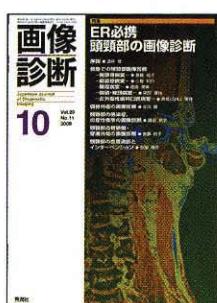


乳腺針生検 病理診断アトラス 100例の鑑別診断 その考え方・進め方

編集 土屋真一、秋山 太、森谷卓也

分担執筆 山口 倫 (医療センター臨床検査室) ほか

発行所 文光堂



画像診断 10月号 ER必携 頭頸部の画像診断

編集 酒井 修
分担執筆 小島和行
(医療センター放射線科講師)
安陪等思 ほか

発行所 金原出版



臨床放射線臨時増刊号 頭頸部の診断と治療update

編集 黒崎喜久 山下 孝

分担執筆 小島和行 ほか
(医療センター放射線科講師)

発行所 金原出版

診療科紹介（精神科）

診療責任者 近間 浩史

平成21年度より午前中の精神神経科の外来診療と午後のリエゾン（身体疾患の治療目的で入院中の患者さんの診療）を開始しました。

昨年度までは週2回のパート体制でしたが、今年度から医師1名による週4日（月、火、木、金）の常勤体制になりました。以前から通院して頂いている患者さんはもちろん、院内や近隣の病院の先生方から紹介して頂いた患者さんの診療をさせて頂き、最近ようやく医療センターの精神科として機能してきたのではないかと思っています。

外来診療に関しては、現代のストレス病とも言える睡眠障害や不安障害、適応障害、うつ病性障害、身体表現性障害の方が多く、不安や不眠、意欲の低下などの精神症状や頭痛や食欲の低下、倦怠感などの身体症状を訴えに、家庭や職場、学校での人間関係や仕事などの日頃、皆さんがよく耳にする日常的なストレスが原因となって受診される方が殆どです。また高齢化社会に伴い認知症の方も増えており、物忘れや徘徊、不眠、意欲の低下などの様々な症状を訴えに受診されています。

リエゾンに関しては、やはり身体疾患の治療に關係した睡眠障害や適応障害、うつ病性障害の方が多く、また高齢者の方はせん妄と呼ばれる一種の意識の障害が起こり易く、錯覚や幻覚を伴い日頃、家では見られないような言動や興奮が出現することもあり、主治医の先生から紹介して頂いて受診されています。

近年の社会状況から生活上のストレスも多くなり精神障害を起こされる方も増えているように感じます。よくあるケースですが、身体的な治療をしても頭痛や吐き気、食欲の低下、倦怠感などの身体症状が改善しない時などに、うつ病性障害や身体表現性障害などの精神障害が隠れている場合があります。精神科の受診に対しては抵抗がある方も多いと思いますが、他の身体疾患と同じく、早めの治療が大切です。本人の受診が難しい時は家族の方の相談受診も可能ですのでお問い合わせ下さい。まだまだ不慣れなことも多く皆さんにはご迷惑おかけしますが宜しくお願ひします。



絵画の寄贈について

白水 美智子

私の絵が、医療センターの療育環境の向上に少しでもお役に立てますこと、心から喜んでおります。

医療センターの病院長の伊藤先生及び管理課長の近藤さんを存じ上げておりましたこと、そして当病院に患者としてお世話になつております姪から、待合室に絵があつたら気がまぎれるとの話を聞いておりましたことなどが、今回絵を寄贈させていただく切っ掛けとなりました。

寄贈いたしました絵は、初めての屋久島との出会いの感動を描いたものです。そこに存在するもの 静かで荘厳な生命力、その生命力が一体となって氣の遠くなるような年月守り続けられてきたことへの驚き・・・。その時以来、度々スケッチに出かけ「屋久島」を二科展に出品し続けております。このような理由で、この絵は最も思い出深い作品の一つです。

私はかつて、医学部の公衆衛生学講座で助手として15年勤務しておりました。しかし、退職後縁あって現在、臨床検査技師専門学校及び看護科の非常勤講師として久留米大学医学部に携わっておりますので、「ほんの少しだけでも恩返しのまねごとができるかな」と思っております。

白木様、すばらしい感動の伝わる絵画を御寄付いただきありがとうございました。病院は一新されましたが、まだまだ患者さんへのアメニティーが充分とは言い難い状況が続いております。

御寄付いただいた絵画が病院を訪れた方々に喜びをそして癒しを与えるであろうことを確信しております。ありがとうございました。

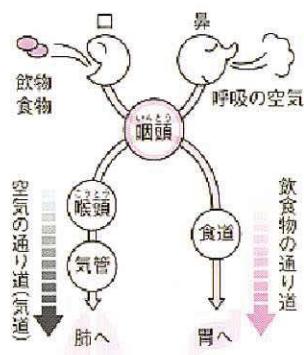


病院長 伊藤 雄平

《 安全に楽しい食事を続けるために 》

☆今まで約3年に渡りこのコーナーでは、“食べること・飲み込むこと”について支障が生じる「摂食・嚥下障害」についてご紹介してきましたが、今回、今まで全8回分のポイントを下記にまとめましたので、どうぞご参考下さい。

①口の構造

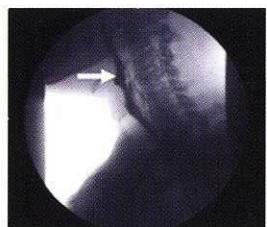


食べ物と空気の通りみちは
交差しています！

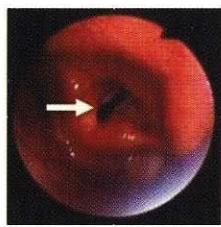
②嚥下障害のチェックポイント

- 1) 食事中や食後にむせや咳が多い。
- 2) 食後に声の変化（出にくいなど）がある。
- 3) 喉に違和感や食物の残留感などがある。
- 4) 口に溜め込んでしまい、飲み込めない。
- 5) 肺炎や熱発を繰り返す。
- 6) 脱水や低栄養状態が疑われる。
- 7) 異常な全身の倦怠感がある。
- 8) 拒食や食欲の低下がある。
- 9) 食事時間が1時間近くかかる。
- 10) 食事の好みが変わった。

③嚥下に用いる主な検査法



VF (嚥下造影検査)



VE (ビデオ内視鏡検査)

④食事の際の注意点

<姿勢と動作>



<食形態>

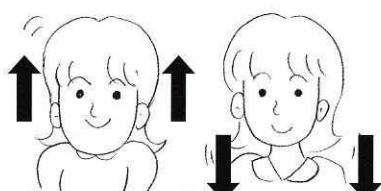
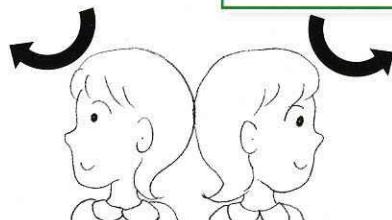


摂食・嚥下障害を持たれた方には適さないもの
「パサパサ」「バラバラ」「ベタベタ」「サラサラ」
「固体と液体の混合物」など。嚥下機能は個人差があるため、上記検査や病院の受診をお勧め致します。

⑤嚥下体操



首を前後・左右に突っ張りを感じるまで、ゆっくり伸ばす
ように動かす



肩をゆっくり上げて、ストンと落とす



舌を前に出して、引っ込む

*気になる症状が出た時は、早めに病院を受診して下さい

(参考) 「摂食・嚥下障害の患者さんと家族のために」 西尾正輝 著

外来診療一覧

平成21年12月1日現在

診療科名	月	火	水	木	金
一般内科	堀まいさ	打和大幹	寺田貴臣	松岡昌信 (リウマチ膠原病センター)	橋本修
呼吸器科(午前) (午後)		松岡昌信			松本久美
消化器科	堀まいさ 原田和徳	田中正俊 橋本修 兼行聰	由谷茂 原田和徳	田中正俊 堀まいさ	橋本修 倉岡圭
循環器科	池田久雄 原田晴仁 寺田貴臣	池田久雄 加藤宏司 打和大幹	池田久雄 加藤宏司 寺田貴臣	原田晴仁 加藤宏司 森田博彦	原田晴仁 森田博彦 打和大幹
精神科	近間浩史	近間浩史		近間浩史	近間浩史
小児科	伊藤雄平 廣島淳	牛島高介 廣島淳	伊藤雄平 廣島淳	牛島高介 廣島淳	伊藤雄平 牛島高介 廣島淳
(専門外来)	腎臓	腎臓 内分泌	腎臓	アトピー 消化器・肝臓	腎臓 小児成人病
外科	村上直孝 緒方裕	笹富輝男 内田信治 肝胆膵	矢原敏郎 (乳腺外来) 五反田幸人 緒方裕	山口倫 村上英嗣 山口圭三	矢原敏郎 村上直孝 内田信治 肝胆膵
整形外科 関節外科センター (午前)	樋口富士男 石橋裕美子 下山十喜子	大川孝浩 久米慎一郎 吉田史郎	樋口富士男 後藤昌史 石橋裕美子	大川孝浩 久米慎一郎	樋口富士男 下山十喜子
(午後予約紹介のみ)	(午後) 鈴木康一 (第2、4)	(午後) 後藤昌史 (14:00~16:00で専門外来のみ) 吉田史郎		(午後) 大川孝浩 (第1、3の午後のみ予約制) 後藤昌史 (14:00~16:00で専門外来のみ) 久米慎一郎 (第1、3、4、5) 稗田寛 (第2)	
リウマチ・ 膠原病センター	福田孝昭 松岡昌信	福田孝昭 本多靖洋 (午後) 矢野真弓	本多靖洋 鮎川竜祐 (午後) 矢野真弓	福田孝昭 矢野真弓 松岡昌信 (一般内科)	福田孝昭 本多靖洋
リハビリテーション科	松瀬博夫	吉光一浩 志波直人 (午後のみで、予約制)	吉光一浩	柳東次郎 馬場敦子 (第1、3、5)	馬場敦子
泌尿器科	江口善朗	江口善朗	名切信	名切信	江口善朗
産婦人科	園田重則	園田重則	園田重則	園田重則	園田重則
眼科	渡邊志穂	渡邊志穂	渡邊志穂	渡邊志穂	渡邊志穂
耳鼻咽喉科	松永次郎	松永次郎	松永次郎	松永次郎	松永次郎
放射線科	池園圭子	池園圭子	池園圭子	池園圭子	池園圭子
麻酔科	小島和行	(画像診断)			
がんワクチン	入江将之				
先進漢方治療 (午前のみ)	山中龍也	由谷茂	山中龍也	由谷茂 山中龍也 (肝炎ワクチン)	由谷茂
	惠紙英昭	惠紙英昭 藤本剛史	惠紙英昭	八木実	佐野智美

受付時間：午前8時30分～午前11時迄 診療日：月～金 休診日：土・日・祭日・年末・年始（12/29～1/3）・盆休（8/15）

編集後記

一年経つのは早いもので、2009年も終わろうとしています。

2009年を振り返ってみると、民主党新政権の発足もありましたが、病院としては何よりも春以降の新型インフルエンザの出現が大きなニュースではないでしょうか。筑後地方でも10月下旬頃から流行のピークを迎え、その対応に振り回された一年だったともいえます。新型インフルエンザの流行はまだ終息せず続いている、例年の季節性のインフルエンザの時季にもなってきました。

皆さん、すでに実行されていると思いますが、インフルエンザは予防することが大事です。咳やくしゃみのある方は咳エチケットを守り、人ごみに出かけた後は、手洗い、うがいを心がけましょう。身体に気をつけてよいお年をお迎えください。